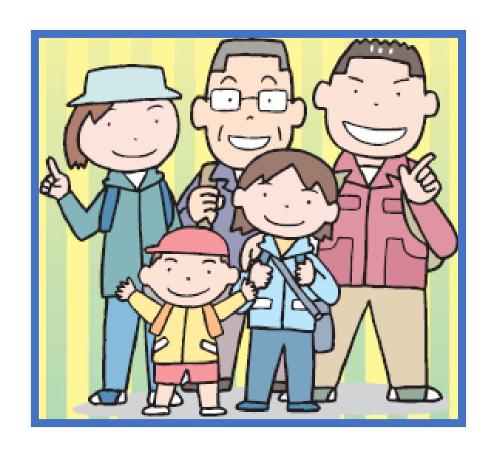
新北野地区防災計画



平成29年11月

毎年のように、日本各地で地震や台風、これまでに経験のない集中豪雨などによる災害が発生しています。 平成7年1月の「阪神・淡路大震災」の大惨事では、住民の皆さんが協力し合って、消火活動や、瓦礫の中から多くの人びとを救出するなど、助け合う人たちの姿がありました。

被害を最小限にとどめるためには「自分たちのまちは、自分たちで守る」という心構えを持ち、住民の皆さんが互いに力を合わせて「自分を守り、家族を守り、隣人を助ける自助・共助」など、自主防災への取り組みを進めていただくために「地区防災計画」を取り纏めることとしました。

日頃からご覧いただき、いざという時の準備をお願いします。

一 目 次 一

1	非常持ち出し品、非常備蓄品の準備・・・・・ 2
2	新北野地区の被害想定・・・・・・・・ 3
3	新北野地区防災マップ・・・・・・・・
4	地震の際の避難の流れ・・・・・・・・
5	淀川区災害対策本部・・・・・・・・・・・・
6	新北野地区自主防災組織について・・・・・・
7	災害時避難所・一時避難場所について・・・・ 9
8	災害時避難所の配置図・・・・・・・・ 10
9	避難所における共通ルール・・・・・・・ 17
10	避難行動要支援者の支援・・・・・・・・ 12
11	わが家の防災メモ・・・・・・・・・ 13
12	避難者カード・・・・・・・・・・・・ 14

1 非常持ち出し品、非常備蓄品の準備

(1) 避難のために用意しておくもの

リュックサックなど両手が自由に動かせるものに入れておき、いつでもすぐに持ち 出せる場所に置いておきましょう。家族の構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背 負ってみましょう。また、少なくても年に一度は点検しましょう。

非常持ち出し袋 「おおおい (110g)	1個 2個	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	寿病薬など) ルート ルブランケット ペーパー イッシュ 大電話用小銭) テープ ック(大)) 222適1224112約111適224前1224112約1111適差枚枚当枚枚枚の口個5個本セ当量 ~~枚一 の 小量	女性は	男性は 対15kg が目安
必需品・貴重品 □ 車や家の予備鍵 □ 予備メガネ・ □ 予備メガネ・ □ 預金通帳(写) □ 健康保険証(写) □ 運転免許証(写) □ パスポート・ 外国人登録証(写)		令者用品 高齢者手帳 おむえ 着替薬 寺病メガネ 香護用品	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	乳瓶 に 乳食 パーン パーン パーン パーン パーン パーン パーン パーン パーン パーン	□ 紙おむつ □ 母子手帳 □ 玩具 □ 着だーぶ □ おんん □ 毛布	

(2) 自宅で避難生活をするために用意しておくもの

避難後、安全を確認して自宅へ戻り、持ち出したり、自宅で避難生活をおくる上で必要な物で、救援物資が届くまでの自足品として1週間分を備えましょう。

非常備蓄品		
● 飲料 □ 飲料水(2ℓペットボトル) □ 非常用給水袋 ■ 食料	◆ 衣類□ 上着□ 下着□ 靴下	□ やかん□ 皿(紙・ステンレスなど)□ コップ(紙・ステンレスなど)□ わりばし□ スプーン
□ アルファ米 □ 乾パン □ パン缶 □ インスタントラーメン □ 缶詰類 □ レトルト食品 □ スープ □ 味噌汁	● 生活用品 □ タオル □ バスタオル = 毛雨 再	□ フォーク □ 歯ブラシ □ 石鹸 □ ドライシャンプー □ 携帯電話の充電器 □ 新聞紙 □ 使い捨てカイロ □ 安全ピン
□ ビスケット □ キャンディ □ チョコレート □ 塩	□ 固形燃料 □ 鍋 □ ラップ □ アルミホイル	● その他 □ ブルーシート □ 布製ガムテープ



2 新北野地区の被害想定

(1) 地震による被害想定(神津小学校区の想定であり神津地区を含む)

【海溝型地震】

* 南海トラフ巨大地震 震度6弱(マグニチュード9.0~9.1) * 南海地震・東南海地震 震度6弱(マグニチュード7.9~8.6)

《最大規模の南海トラフ巨大地震での津波による被害想定》

・ 淀川河口への到達時間 地震発生後 約116分

想定津波高(大阪湾) 最大 5.6m

浸水想定 浸水の深さ 0.5m~3.0m

《地震の揺れ(震度6弱)による被害想定》

・倒壊家屋想定 木造 120 棟、非木造 14 棟

• 半壊家屋想定 木造 183 棟、非木造 51 棟

死者想定1名(早朝)、2名(昼夕)

• 負傷者想定 146 名~192 名

避難者想定 458 名

【直下型地震】

*上町断層帯地震 震度6強(マグニチュード 7.5~7.8)

・倒壊家屋想定 木造 369 棟、非木造 59 棟・半壊家屋想定 木造 307 棟、非木造 129 棟

死者想定
 8名(早朝)、12名(昼夕)

• 負傷者想定 263 名~308 名

• 避難者想定 1,180 名

*生駒断層帯地震 震度5強(マグニチュード 7.3~7.7)

*有馬高槻断層帯地震 震度5強(マグニチュード 7.3~7.7)

*中央構造線断層帯地震 震度5弱(マグニチュード7.7~8.1)

(2) 水害による被害想定

*淀川が氾濫した場合 浸水の深さ 3.0m~5.5m

*神崎川が氾濫した場合 浸水の深さ 0.1m~2.0m

*内水氾濫の場合 浸水の深さ 0.1m 未満~0.5m

《正しい情報を入手しよう》

携帯メールアドレスを登録すると、地震・津波・台風情報など気象に関する注意報や 警報、避難勧告や指示情報など、幅広い防災情報が提供されます。

3 新北野地区 防災マップ



符号	施設の名称	施設の種類	所 在 地	収容可能人数	備考
2 2	│ │ 新北野中学校	災害時避難所	· 新北野 2-13-37	1,490 人	(%2)
90	7 机孔野中子仪	津波避難ビル	約170至3 乙- 1 O-O 1	(%1)	(%2)
2 6	災害時避難所 北野高等学校		2,290 人	(%4)	
91	7 礼野向守子仪	津波避難ビル	# <u># </u>	(%3)	(%4)
0 87	ホテル プラザオーサカ	津波避難ビル	新北野 1-9-15	2,600人	(%5)
0 88	星光十三ビル	津波避難ビル	新北野 1-8-17	380人	(%6)
0 89	パークナード新北野	津波避難ビル	新北野 2-6-23	165人	(%7)
0 28	新北野公園	一時避難場所	新北野 3-14	_	

(※1) 一時避難可能人数 8,200 人

(※2)使用可能時間 24H

(※3) 一時避難可能人数 14,280 人

(※4)使用可能時間 24H

(※5) 使用場所 3階&屋上のオープンスペース、4階~19階の廊下

使用可能時間 24H

(※6)使用場所 3 階~8 階の指定エリア(廊下、4 階&7 階の教室)使用可能時間 8:00~20:00(土曜日・日曜日・祝日を除く平日)

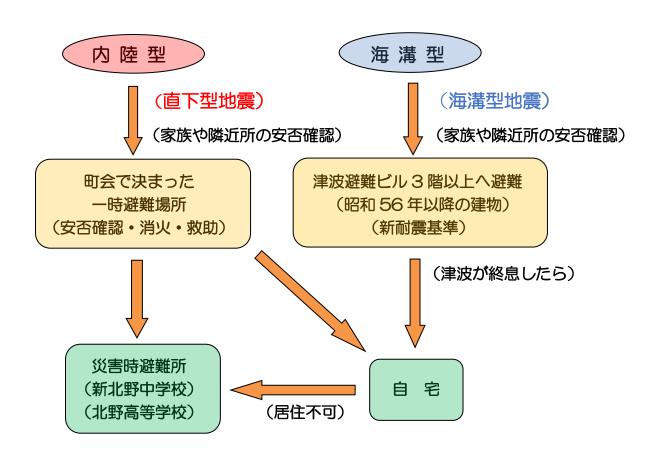
(※7) 使用場所 3 階~13 階の共用廊下

使用可能時間 9:00~15:00 (土曜日・日曜日・祝日を除く)

ただし、管理人が駐在している日に限る。

4 地震の際の避難の流れ

地震の違いによる「避難行動の違い」



*直下型地震の避難

地震発生後、まず自身の身の安全を守り、家族の安否確認、隣近所の安否確認を行い、町会の一時避難場所で地域の安否確認を行い、火災の消火や救助が必要な場合は協力し、 自宅が倒壊等で住めない場合は災害時避難所へ移動しましょう。

*海溝型地震の避難 ~津波の可能性あり~

地震発生後、まず自身の身の安全を守り、家族の安否確認、隣近所の安否確認を行い、津波避難ビル3階以上へ避難、津波警報等が解除になったら自宅の安全確認を行い、 自宅が住めない状態の場合は災害時避難所へ移動しましょう。